

## 【 実践問題 攻略法 】

愛知県高校入試の合格者平均点を見ると、他教科に比べて低い傾向にある。

昨年の平均点は11点台であったが、10点を切ることも珍しくない。

君たちの入試で簡単か難しいか、それはわからない。

一度きりの一発勝負。そこで君の力が出し切れるように。常に高得点なんて必要ない。

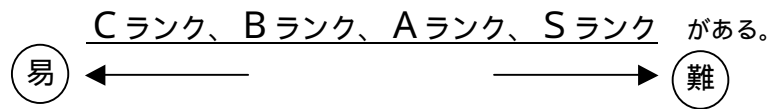
君の100%を発揮するんだ。

君の100%が13点なら13点を、18点なら18点を取るんだ。

開拓のやり方に乗かって、取りきれ！君の合格点を。

### 「入試を知る」

入試に出題される問題には、それぞれ、



今日から、問題を見て、「取る」のか、「飛ばす」のかのジャッジ能力をあげよう。

## 数学 勝利への考え方

### その1 時間の意識を高める。

**制限時間は40分。**この時間内にどう戦うか？が勝利への鍵となる。

計算問題7問(定義定理含む) 解き直しも含めて6分と考えると、**34分で残りの13問を解く**計算になる。

単純計算で34分÷13問をすると、**見直し時間を0として、1問あたり、2分36秒で解く**ことになる。

思っているより時間はないんだ。

### その2 勝つためのジャッジ「飛ばす」。

問題を「飛ばす」というのは、ともすると、点数を下げることになる？と思う人がいるかもしれない。

しかし、それは全く違う。

全て解いていけば、当然時間に余裕はないから、間に合わない問題、見直しできずにミスをしてしまう問題が出てしまう。

結果、全部解いたのに、12点しか取れない。こんなことは、普通に起こり得る。

しかし、時間内に解けそうにない問題を見極め、「飛ばす」という選択を10秒で3問すれば、**2分26秒×3問で、7分18秒の時間が生まれる。その時間を他の問題を解く時間、見直しの時間にあてれば、ミスも減り得点上がる可能性は非常に高いといえる。**

### その3 勝利への最大の鍵は、「解けない問題を飛ばすジャッジを、素早くすること」

**「解けない」問題を素早くジャッジし、その問題を飛ばすこと。**これは、その時間を他の問題を解くのに充当できることになるから、精度が上がればあがるほど、いいということ。

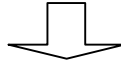
だからこそ、即座に「出来ない問題を見極める」ことを出来るようにトレーニングしていこう。

ジャッジが速ければ速いほど、取りきりのアップにつながる。

## 数学 勝利への攻め方

### 1. まずは計算をとりきろう！

まず解いてしまおう。その目的は「安心感」。最初に計算を取って、少し落ち着いてから次の動作に移ろう。そして、いつも通り**必ず2回目を解く**んだ。ここで確実に7点おさえておけば、安心して次の問題に進める。



### 2. 1問に絶対はまらず、テンポ良く解いていこう。勝負は前半！

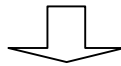
後半は誰でも急いで解こうとする。最後に焦るんじゃないで、前半にまず勝負をかける。

わかると判断した問題はわかるからといって焦らず、ミスしないスピード、適正スピードで解いていけ。

そして、わからない問題をゆっくり解く、何度も往復活動すること、これは絶対やるな！

解けると判断した問題を解いていく。ただし、「解ける」と思って解きにいった、しかし30、40秒考えても解くストーリーが見えてこなければ、ここでも「飛ばす」判断を勇気をもってしよう。はじめ「解ける」と判断しても、解いていく中で「あれ??」と思った時は、印をつけて飛ばそう。絶対に飛ばせ！「飛ばして、正解！」これを目指せ！

それから、「解ける」判断をして解いていった。途中までは順調だったが、最後の最後でふんづまる可能性もある。ここで意地張って粘りすぎはいけない。改めて、時間は1問2分が目安。ここで5分も粘っては絶対にいけない。ラストの一手が難しい、というような問題はよくあること。マークをつけて飛ばして次に行け！大丈夫、戻ればいいのだから。

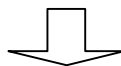


### 3. 解いた問題（計算以外）の見直しだ！

ここは絶対にやってくれ！時間を見て、まだ解いていない問題を解きに行きたくなくなる気持ちは分かる。でもそれをやっちゃうと、ミスを連発する可能性がある。リスクが大きすぎる。

目標が14点で、実際取れる問題が12点しかないのであれば、12点を取りに行く。

逆に、16点あったのであれば、16点取りに行く。問題のレベルに合わせて対応しろということ！！



### 4. それでも時間が余っていたら、更に1問を狙いにいけ。狙うのは、「いけるかも」と思える問題。

欲張りすぎる必要はない。ここまでを取りきれていたらなんの問題もない。もし時間があるのならいいよ、ぐらいの位置だ。

でも、残り2分を切っていたら新しい問題にはいくな！とにかく負けられない戦い方をイメージして、がめつくならないこと。それが、君の勝利への道だ。

勝利への攻め方を実践するために・・・

## 40分時間を計って、上の通りの解き方で実践

### 答え合わせにすぐいかず、+15分でもう一度飛ばしたものを解く。

この時間で解けた場合・・・見極めミスだった。

「出来ないと思ったけど、出来た」ことになる。このパターンもあるんだ、と自分自身の体内に注入させるんだ。この繰り返し練習で自分自身の感覚神経をどんどん上げていこう。

改めて、「**解けない問題を素早くジャッジする能力**」「**飛ばす問題をジャッジする能力**」を上げること。

普段、講座や授業、自宅で問題を解くときも常に意識しよう。

問題を読み、自分で「解けるか？」のジャッジをする。その後解いていく癖をつけていこう。

そして、解けた、解けなかった。とたくさん経験することで、必ず精度は上がっていく。

ただ、忘れちゃいけないのは、実践演習以外、授業の中であつたり、家で力をつけようとするとき「解けないかも」と判断しても、「解く」んだぞ。

この「ジャッジ」を普段からやり続けることで、流れを体内に注入するんだ！

ここから、みんなはもちろん**出来る問題を増やしていく**。

でも、それだけでは入試に、入試の緊張に勝てない。

普通この時期、「出来る問題を増やしていく」のが基本のスタンス。

しかし...KAITAKU生は「**出来る問題を増やす**」+「**飛ばす見極め**」の両方を練習するから、

当日、どんな難易度の問題がきてもパニックにならずにいけるんだ！

がんばろう、1つ1つ実践して、必ず力が上がっていく。

もう一度、「飛ばす」というジャッジが早ければ早いほど、解ける問題へたくさん時間を使えることになる。

例えば、飛ばす問題3問をそれぞれ10秒でジャッジできたら、2分26秒×3問=7分18秒を他の問題を解く時間に回せるってこと。

だから勝負は、「飛ばすべき問題をどれだけ早く飛ばせたか？」だ！

たくさん練習してジャッジ能力を上げよう。

## 頭に叩き込め！代表的なミスはコレだ！！

### 解答用紙への転記ミス

正しい答えが出てるのに、解答用紙に間違えて書いてしまった。こんな悔しいことはない。

答えが出たら、STOP！落ちついて解答用紙に記入しよう。

### 計算

答えの符号付け忘れ。  
または計算途中の符号ミス。

### 角度

5度や10度の計算ミス。  
逆の部分を求めてしまう。

### 方程式

左辺と右辺の内容が違う。  
小数や分数での計算ミス。

### 証明

場所は合っているけど対応順になっていないと不正解だぞ。

### 関数

座標や傾きの符号ミス。  
式を書く時の文字間違い。  
求める場所の間違い。

### 確率

とにかく数え間違い。  
表で線を引くか引かないか？  
分数の約分忘れ。  
何通りか？確率か？

### グラフ

スタート、ゴールは正しいか？  
メモリを読み間違えていないか？

「知識」と「攻め方」のコラボレーションで、君の得点力は大幅にアップだ！